

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：稲沢商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者に対し、巡回・窓口（オンライン含）の手段を用い、業況や経営諸問題の早期解決や事業計画策定と実行支援に努める。また集団・個別指導等として金融・経営・労務・税務において話題性のあるテーマでのセミナーの実施や個別専門家による相談会を開催する。これらにより経営改善普及及事業の更なる普及と利用促進を図る。	◎巡回指導実企業数 449社（うち非会員数10件） ◎巡回指導延件数 592件（うち非会員数10件） ◎窓口指導実企業数 235社（うち非会員数14件） ◎窓口指導延件数 405件（うち非会員数14件） ◎課題解決提案件数 40件（経営指導員4名×10件） ◎経営革新承認件数 0件（経営革新0件）	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 62.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	巡回・窓口指導は、684事業所、延べ997事業所に対し、巡回や窓口で支援を行った。巡回指導では補助金情報などを事業者者に届けたり、生の声で状況を伺うことができた。また事業承継でわずかではあるが訪問をしている。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 C 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 A	目標① 下げる	目標② 現行どおり	次年度は、未巡回事業所を訪問も含め、巡回指導中心に実施する。	○	
講習会事業（県費事業）	変化する経済環境への対応に苦慮する小規模事業者に対し、基本的な知識・技術の取得や時事的な問題への啓蒙、ならびに経営上で直面する問題解決に向けた個別専門家相談により事業所の質的向上と円滑な事業運営に資する。	◎集団経営革新1回1人/環境対策2回12人/労働1回0人 延参加小規模事業者数13人 ◎個別金融10回10人/税務7回53人/労働5回0人/法律2回3人 延参加小規模事業者数66人	小規模事業者	指標	延参加事業所数 (達成度 46.5 %)	指標	(達成度 %)	集団指導ではカーボンニュートラルについてのセミナーを開催している。小規模事業者でも取引先の関係に関心の事業者があることがわかった。個別指導では経営の諸問題に専門家と相談をし、早期解決につとめた。	総合評価	C	事業実施評価	自己評価 D 目標達成度 C	調査結果 満足度 B 必要性 B	目標① 下げる	目標②	小規模事業者にとって話題性の高い内容のセミナーを実施する。		
記帳継続指導事業（記帳機械化）	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と源泉事務や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理により経営力の向上を図る。	◎記帳継続対象事業所 43事業者 記帳機械化対面指導延回数 521回 指導日数 323日	小規模事業者	指標	記帳機械化対面指導件数 (達成度 116.6 %)	指標	(達成度 %)	65万円控除を受けるためパソコン会計をする割合が高くなっていることから、記帳継続指導を復活させ、事業者の記帳能力の向上に寄与した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 B	目標① 下げる	目標②	記帳継続指導の割合が増していくことを考慮し、目標値を下げた。		
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興・発展を図るため若手後継者の育成支援を通じ、経営の質的向上や事業承継、また地域社会の活性化に寄与する。	1. 青年部事業 開催回数2回（参加延数 21名） 「うち事業開催内訳」 ①事業計画策定セミナー開催18人 ②全国大会への参加 3人 2. 女性会事業 開催回数4回（参加延数 138名） 「うち事業開催内訳」 ①資質向上セミナー開催2回25人 ②全国大会への参加 1回3人 ③チャリティコンサート開催1回110人	青年部 女性会会員 (小規模事業者)	指標	事業開催延参加人数 (達成度 89.8 %)	指標	(達成度 %)	青年部・女性会の事業を通じ、自己研鑽の機会を得ることで、経営者自身の資質向上に繋がった。イベントも開催することができ地域の活性化にも寄与することができた。さらに活動のPRを行いながら、市内の若手・女性経営者に対し、新規の会員獲得に繋げている。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 下げる	目標②	女性会の会員数が少ないため、会員獲得のための事業が必要になっている。		
地域振興祭事業（あじさいまつり）	平成4年より稲沢あじさいまつりは、大塚性海寺の敷地内の稲沢市歴史公園にて開催されている。期間中は県内外から平日・休日問わず観光客を募集しており、地域振興に繋げ商工業の発展に寄与する。	事業実施による延来場者数 52,000名 事業内容 特産品販売、稲沢市PRブース、文化財開放 事業実施 令和6年6月1日（土）～16日（日）	小規模事業者	指標	延来場者数 (達成度 104.0 %)	指標	(達成度 %)	開催期間も長く、平日にも関わらず市内外から多くの来場者があるため、特産品販売等の出展業者や地域の飲食店にとって良い効果をもたらしている。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 現行どおり	目標②	今年は全体的に花の開花が遅れそうではある。天候に恵まれ、昨年並みの来場者を期待したい。		
地域振興祭事業（夏まつり）	平成8年度に実行委員会主体により稲沢公園にて市民夏まつりを開催してきた。平成28年度から、新実行委員会を構成し、祖父江サリオパーク周辺を会場として花火イベントを行う。	事業実施による延来場者数 55,000名 事業実施 ステージ、フリーマーケット、特産品販売 事業実施 令和6年8月24日（土）	小規模事業者	指標	延来場者数 (達成度 110.0 %)	指標	(達成度 %)	多くの人が集う祭として定着しており、出展業者等に対しては集客に貢献している。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 現行どおり	目標②	来場者は、当日の天候に左右されてしまったため晴天を期待したい。		
地域振興祭事業（稲沢まつり）	まつりの歴史も長く、今では秋の市民まつりとして定着し毎年10月中旬に開催している。ステージイベントや市内の企業ブースも充実し多くの来場者で会場が賑わうまつりである。	事業実施による延来場者数 48,000名 事業実施 ステージ、企業ならびに諸団体の展示販売 事業実施 令和6年10月19日（土）・20日（日）	小規模事業者	指標	延来場者数 (達成度 68.6 %)	指標	(達成度 %)	大道芸を中心にステージのイベント等も実施され、大勢の来場者が訪れた。市内の事業者を中心とした出店者や近隣の事業者への集客に貢献している。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 下げる	目標②	今年度も多くの出展者が参加できるよう調整中である。限られた予算のなか、多くの来場者に来ていただけるようイベントの充実を図る。		

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：稲沢商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等					
				指標	達成度	（達成度 %）	指標	達成度	（達成度 %）	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②				
観光振興事業	当地域では、1200年以上の歴史がある天下の奇祭「国府宮はだかまつり」や文化財・歴史遺産の宝庫であり、全国でも指折りの楠木・苗木の一大生産地でもある。市内の観光資源を広く情報発信し、特産品開発と様々なイベント会場での販売を通じた文化振興や賑わいづくりにより、地域産業の底上げを図る。	1. 観光産業や資源の情報発信事業支援 2. 観光イベント（あじさいまつり、梅まつり等）への事業者出店支援 12回 3. 特産品のPR・販売支援	小規模事業者を中心とした商工業者ならびに一般消費者	指標	10	実績数値	12	指標		実績数値		特産品のPRする場を設け、多くのイベント来場者の目に触れることで、今後の購買に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	特産品を新たに認定する年に当たるため目標を特産品認定商品数に変更。
情報収集・提供事業	商工会議所ネットワークを活用して、各地域の景気動向を毎月調査し、リアルタイムの景気観測情報を小規模事業者へ情報提供する。	1. FAX・メールによる調査 毎月1回 5事業所×12=60回 2. 市内景況調査 四半期ごとに実施 延べ回答数239社	小規模事業者	指標	240	実績数値	239	指標		実績数値		四半期ごとに市内景況調査を実施し、会報誌やホームページにて公表した。サンプル数は少ないものの市内の同業者の景況感を知ることができ、自社の経営判断に役立った。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	アンケート回答数が減少傾向にあるため、窓口相談者等へ依頼する。
商談会事業	地域商談会やアライアンスパートナー発掘事業、ザ・ビジネスモールへ参画し、企業交流の場を提供する。企業のビジネスチャンスの場を創造し、取引の拡大に繋げる。	1. 地域商談会参加企業数 8社 2. 77アイスパーク発掘市事業参加企業数 3社 3. ザビジネスモール活用事業者 15社 4. 異業種交流会参加企業数 29社	地域内 中小・小規模事業者	指標	50	実績数値	55	指標		実績数値		新たな取引先やパートナーと出会う機会を創造しており、オンラインやネットの活用も実施している。また、当所にて異業種交流会を実施し、新たなビジネスチャンスの場を作った。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今年は増加したため、現在の数を保つようとする。
雇用促進事業	地域企業の就労者確保や定着促進を図り、意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	1. 新入社員・中堅社員セミナー等の開催 14社 24名 2. 永年勤続従業員表彰の実施 9社 18名 3. 市内事業所の人材確保事業 年3回 延べ80社	小規模事業者及び中小企業を中心とした管内企業社員	指標	110	実績数値	122	指標		実績数値		人手不足を一番に挙げる事業所も多く、新卒者が市内事業所に就職してもらおう機会になることを期待している。現在いる従業員に永く勤務をしながら、スキルアップしてもらえらる機会を提供。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	人手不足は重要な課題であるため、新たな方法も模索しながら事業を進めていく。
人材育成事業	各種検定事業の推進により、職業能力の開発やキャリアアップを図り、将来に向けた地域産業の健全な発展に寄与することを目的とする。	1. 珠算検定の実施 年6回 643名 2. 簿記検定の実施 年3回 84名	小規模事業者及び中小企業社員及び市民	指標	510	実績数値	727	指標		実績数値		検定の内容は、ビジネスに直結しており、企業が求める人材育成や、自己研鑽のひとつの目標として利用されている。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	受験方法の多様化によるものなのか検定の受検者数が減少しているため。
部会・委員会事業	商工業事業者にて構成する部会あるいは委員会の活動を通じて参加企業の発展に資することを目的とする。	1. 部会開催 7回 97人 2. 委員会 0回 0人 延べ7回 97人	小規模事業者を中心とする会員事業所	指標	15	実績数値	7	指標		実績数値		委員会・部会は、同業種で構成されており、業界の情報交換や意見の集約の場となっている。先進地視察事業も行っている。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	各委員会、部会活動により、事業者の抱える問題を同業会のため活発に活動する。

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：稲沢商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考							
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価					今後の展開・改善点等						
				指標	延べ加入者数 (達成度 106.4 %)		指標	(達成度 %)		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足		目標①	目標②					
福利厚生事業	中小企業の経営と持続的な雇用安定を図るために、各種共済制度の普及啓蒙により福利厚生の充実と企業人材育成に資することを目的とする。	共済事業の推進 1. 特定退職金共済制度 655件 2. その他共済事業 1,048件	中小・小規模事業者	目標数値	1,600	実績数値	1,703	目標数値							実績数値		従業員退職金制度は、従業員定着や企業の福利厚生の充実に役に立ち、企業や経営者のリスクに対応した共済は、経営の安定化に貢献している。	総合評価	A	事業実施評価の	A	調査結果	満足度	B
労働保険事務組合支援事業	労働保険事務組合事業は、事業者の委託を受けて、事業主に代わり労働保険料の申告納付と労働保険に関する情報提供や各種届け出の事務手続きを行っており、事業主の事務負担軽減や、労働保険適用促進、労働保険料の適正な徴収に繋がるため、事務組合事業の支援をする。	1. 委託事業場 265事業所 2. うち新規委託事業場 10事業所 3. 一人親方委託事業場 147事業所 4. うち一人親方新規委託事業場 11事業場 合計412事業場の支援をする。	中小・小規模事業者	目標数値	413	実績数値	412	目標数値		実績数値		労働保険への加入促進と、情報の提供、労働保険料申告を行う事務組合を支援することで、法令遵守、事務の効率化などに役立っている。	総合評価	B	事業実施評価の	B	調査結果	満足度	B	補足	現行どおり	目標①	目標②	ここ数年、当所への委託事業所は、微増していることから、委託事業場を増やしていきたい。
税務関係団体支援事業	税務行政支援団体である青色申告会・法人会組織の活動サポートと事業運営を支援することにより、行政団体はじめ地域社会への貢献に寄与し、地域商工業者の経営安定に資することを目的とする。	1. 稲沢市青色申告会 会員数189事業所 複式簿記による自己記帳の推進と適正申告指導及び組織強化 2. (公社)一宮法人会稲沢支部 会員数478社 国税・地方税の租税教育の推進と組織強化	中小・小規模事業者	目標数値	680	実績数値	667	目標数値		実績数値		青色申告会や法人会の支援を通じ、税への理解を深め、青色申告や電子申告の推進や、インボイス制度への対応等を周知を行った。	総合評価	B	事業実施評価の	B	調査結果	満足度	B	補足	現行どおり	目標①	目標②	稲沢市青色申告会の会員数は毎年、減っており、目標値を下けている。当所の確定申告支援にも限界があることから、青色申告会と協力をしながら確定申告支援を行う必要がある。
産業団体等支援事業	稲沢市商業協同組合や稲沢市商店街連合会、管内各商店街ならびに発展会の活動サポートと事業運営に協力し、地域の商業振興の活性化と組織基盤強化、地域の消費喚起を図る。また稲沢市が行うデジタル商品券事業に協力することで市内事業者のPRや店舗のデジタル化を推進する。	商業団体加入延会員数191事業所 1. 稲沢まつり協賛の大売り出し事業への支援 参加事業数31社 2. 商業協同組合の共通商品券発行事業への支援	小規模事業者を中心とする商店街等組織	目標数値	30	実績数値	31	目標数値		実績数値		小売・サービス業の廃業が相次ぎ、弱体化する商業団体を支援することで、地域の活性化を保つ役割を担っている。「大売り出し」を各商店街、共同で開催し、抽選会を実施した。また商業団体に協力を得て、市の商品券事業に協力し、市内の消費拡大にも貢献した。	総合評価	A	事業実施評価の	A	調査結果	満足度	B	補足	現行どおり	目標①	目標②	デジタル商品券の参加事業者数に変更。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。